

9月18日(日)に、『この世界の片隅に』のアニメーション映画化を支援する「この世界の片隅に」を支援する呉・広島会」の5人のメンバーをお招きしてトークイベントを開催しました。

「支援する会」のこれまでの活動や、作品に対する思いなどをお聞きしました。

## 5年にわたる支援活動

支援する会は、アニメーション映画化が正式に発表された2015年6月に発足。しかし、それ以前の活動も含めると、メンバーの皆さんは5年という長期間にわたって支援を続けてこられたそうです。長く続けられる秘訣は「自分にできることを楽しんでやること」。経歴も様々なメンバーによる多彩な活動で作品のPRをしてきたそうです。

## 様々な企画でPR

特に力を入れてきたのがPR活動。『この世界の片隅に』をより多くの人に知ってもらうために、様々なイベントを企画してきました。2013年から始まった「このセカ探検隊」には、片淵監督・この先生の先生も参加し、全国から集まったファンの方と一緒に映画の舞台を巡りました。

7月23日に美術館であったボンネットバスで呉の街を回る企画も支援する会によるものでした。

## 映画の公開を控えて

この日はすでにメンバーの皆さんは映画の試写をご覧になっており、その出来に非常に感動しておられました。メンバーの中には「あと5回は観に行きます。」という方も。

そして、劇場公開日の11月12日へ向けて最後のPR活動をしっかりやっていき、より多くの人に映画を見て頂きたいと話していらっしやいました。



作品と一緒に呉の街も盛り上げていきたいと話していた支援する会の大年会長



作品に対する様々な思いを語って下さったメンバーの皆様

支援する会の皆様、参加者の皆様、ありがとうございました。